

研究通信	来年度の研究構想について	能美市立寺井中学校 研究部
No.13		2022年3月15日(火)

## 来年度の学校研究構想

### 【生徒の現状】

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| ○学習にきちんと向かう生徒が多い     | ▲一部学習意欲が低い生徒がいる    |
| ○男女関係なくペアやグループ活動ができる | ▲学習への姿勢がどちらかという受け身 |
| ○教師の問いかけに対して素直に答える   | ▲家庭学習が少ない          |

### 【来年度のテーマ】

「誰もが主役になれる」授業づくり(仮)

クラス内での教え合いや学年を超えた教え合い(例:体育実技発表会でのよさこい)を行う中で、授業への参加度を高め、生徒が自ら学び、生徒が主役である授業を目指す。

### 【内容(現段階で決まっていること)】

#### ・「授業を高める7か条」の改訂

「習得」が中心の授業と「活用・探究」が中心の授業の2つのスタイルに分け、本時がどちらなのかを生徒、教員が共に自覚し、授業にのぞむ。それぞれのスタイルで大事な視点を掲げ、それらを意識するようにする。

#### ・各教科での取り組み

「習得」と「活用・探究」のそれぞれのスタイルの授業の中で、具体的にどんな姿を目指し、どんな取り組みができるのかを話し合う。

(例)「目指す姿」

「習得」: 分からない友達に教えている

「活用・探究」: 学習を自分事にし、自分たちで考え、一人ひとりが自分なりの答えを見つけている

(例)「具体的な取り組み」

「習得」: お互いに作った問題を出し合う

「活用・探究」: 習得した知識をもとにしたニュース番組づくり

#### ・全体での取り組み

学期ごとに学校全体で取り組む重点項目を定め、学期の終わりに取り組み結果を検証し、次の学期につなげていく。

### 【今後の予定】

- ・3/29に教科代表が集まって、上記の取り組みについて案を出し合う。
- ・4月に入ってから、校長ビジョン、研究主題を受けて教科部会でもう一度取り組み内容を確認する。

#### 〈授業を高める7か条+〉(仮)

- ・次の授業の教具をそろえ、不必要なものは机の上に置かない
- ・チャイムが鳴る前に席につく
- ・号令と授業のあいさつはしっかり行う
- ・姿勢よくいすに座る

#### ～習得～

- ・これまで学んだこととのつながりを意識する
- ・何ができるようになったかをまとめて確認する
- ・クラス全員が分かるように教え合う

#### ～活用・探究～

- ・自分の考えを持つ
- ・自分の考えと友達の考えを比較したり関連付けたりして、新しい考えに出会う
- ・自分の考えを根拠をもとに伝え合う

- ・授業の最初と最後の変容を自覚する